

# 環境だより

地球温暖化対策版 13号

発行日：平成 24 年 10 月 15 日

発行元：住民課 生活環境係

## 第 2 回猿払村地球温暖化対策地域協議会開催

(平成 24 年 8 月 30 日 (木) 13 時 30 分～14 時 15 分 出席委員 13/23 名)

【主な会議内容等について、お知らせいたします。】

### 平成 24 年度の実施事業 (経過報告)

#### ①エコ運転／ノーマイカー通勤推進啓発事業 (事業所訪問) 継続事業

地域全体で温室効果ガス排出量の削減を図る一環として、本地域協議会の委員による事業所訪問を実施しました。

職場を通して、職員の仕事や家族旅行等で車を運転する際の「エコ運転」また、「マイカー通勤の自粛」の実践励行について、啓発訪問を行いました。

なお、本事業は、平成 22 年度からの継続事業であることから、この度の事業所訪問に際し、取組み成果の検証を行うため、アンケート調査を実施いたしましたので、併せて報告いたします。

- 訪 問 先：村内事業所 36 ヶ所
- 訪 問 日 時：平成 24 年 5 月 24 日 (木)・25 日 (金)  
午後 1 時 30 分～午後 3 時 30 分
- 訪 問 者：委員等 延べ 計 17 名
- 配 布 物：のぼり (ポール付き) 啓発パンフ
- そ の 他：アンケート調査結果 《ページ裏に掲載》

事業主の皆さん  
ご協力ありがとうございました。

#### ②平成 24 年度地球温暖化防止標語審査の結果 継続事業

親子で共に考えてつくりあげる「犯罪や非行のない、明るく元気な村」「交通事故や違反のない村」「地球温暖化防止を推進する村」づくりのために、取り組む意欲や決意となる標語を募集しました。猿払村地球温暖化対策地域協議会において、委員が審査員となって、「地球温暖化防止標語」の最優秀及び優秀作品が選ばれました。

- 応募作品数：小学生の部 44 点・中学生の部 56 点
- 審 査：1 次及び 2 次審査実施
- 最優秀作品：小学生の部 1 点・中学生の部 1 点
- 優 秀 作 品：小学生の部 4 点・中学生の部 6 点
- 作 品 掲 示：役場 1 階ホール (期間限定～10 月 31 日まで)  
保健センターホール (通年掲示)

※他に、交通安全標語や防犯標語も掲示して  
ます。

児童生徒・先生・  
保護者の皆さん、  
たくさんの応募あ  
りがとうございま  
した。

◇小学生の部：最優秀作品◇

《エコの星 未来の子どもに残したい》

知来別小学校 5 年 梅田 吏都

(保護者 麻美)

◇中学生の部：最優秀作品◇

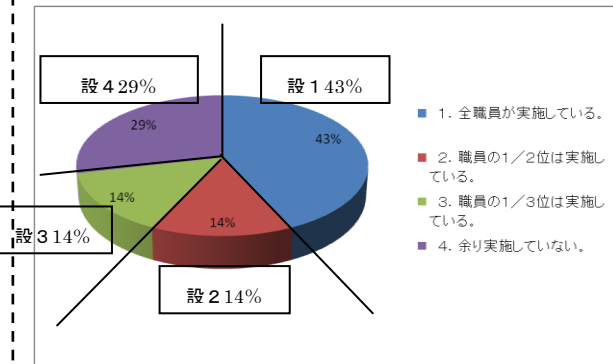
《エコの輪で きれいな猿払 いつまでも》

拓心中学校 2 年 長原 妃奈子

## ■エコ運転／ノーマイカー通勤取組状況アンケート調査結果

『回答状況 58% (21/36事業所)』

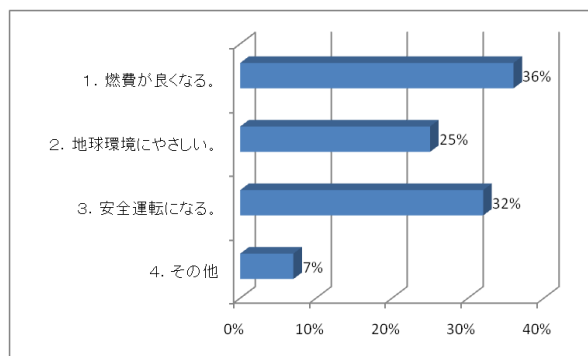
問1. あなたの職場では、エコ運転を実施していますか。



「余り実施していない」と回答した事業所は29%であったが、「職員の1/2及び1/3は、実施している」を含めると、約70%の事業所でエコ運転に取り組んでいることが伺える。

今後も、少しでも多くの職員が取組んで行くよう、継続して啓発活動を推進する必要があると感じた。

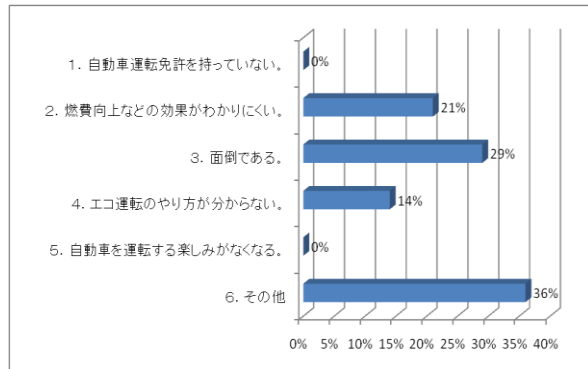
問2. あなたの職場では、どのような理由からエコ運転の実践をしていますか。



回答から地球環境に対する意識よりは、「燃費が良くなる」や「安全運転になる」との意識の方が少し高いことがうかがわれる。

経済性や安全運転、そして、地球環境も含め、意識のレベルアップを図る必要があると感じた。

問3. あなたの職場で、エコ運転を実践していない理由を教えてください。



「エコ運転を余り実践していない」と回答した理由として、「面倒である」29%、「燃費向上などの効果がわかりにくい」21%、そして「エコ運転のやり方が分からない」が14%の回答であった。

今後の対応としては、エコ運転のメリット等について、今以上に普及啓発を推進することが必要と感じた。

問4. 猿払村地球温暖化対策地域協議会では、今後も事業所の皆さんを対象としたエコ運転の普及活動を推進して行きます。今後の取組みの参考とさせていただきますので、貴事業所からの普及啓発についてのアイデア等がありましたら、お聞かせ下さい。

### 【取組に対する意見等】

◆これからは、アイドリングストップを行う。◆現場では、こまめにエンジンを止める。◆現場には必要最小限の車の台数で行く。◆アイドリングストップを促すステッカーを運転席に貼ってもらう。普通のステッカーだと貼らないので、横文字にしたり(アルファベット)、エンボス加工されたものだと貼ってくれるかも。◆低燃費タイヤの推進◆タイヤ空気圧の点検◆定期点検の実施◆省燃費オイルの推進◆地域的に自動車は必要な移動手段であり、CO<sub>2</sub>を出さない車(電気自動車※電気を発電するのにCO<sub>2</sub>は出しますね)等は、充電設備がなければ現状では無理かと。まず、CO<sub>2</sub>削減には、自然のエネルギーによる発電利用を1番最初に取り組むことが必要ではないでしょうか。その次です。

以上の調査結果を参考に、これからも啓発強化を推進して行きますので、よろしくご協力願います。